

協議会ニュース 92号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2004.1

謹賀新年



●特集 11月1～3日 NACS-J 自然観察指導員講習会

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・レポート:井城 雅夫 (名古屋支部) |P2～5 |
| 新人紹介 | |
| ・支部だより「知多支部研修報告」 |P6 |
| レポート:降幡 光宏 (知多支部) | |
| ・トピックス「冬の観察」 |P7 |
| ・協議会理事 役員紹介 |P8～9 |
| ・理事会だより |P10 |
| ・事務局だより |P11 |
| ・編集部だより・行事予定 他 |P12 |

指導員講習会レポート

自然観察指導員講習会を実施しました！

レポート 井城 雅夫（名古屋支部）

平成15年11月1日（土）から11月3日（月）に、犬山国際ユースホテル及びその周辺のフィールドにおいて、自然観察指導員の養成を目的とした自然観察指導員講習会を（財）日本自然保護協会と愛知県が共催し、愛知県自然観察指導員連絡協議会はこれに協力をしました。



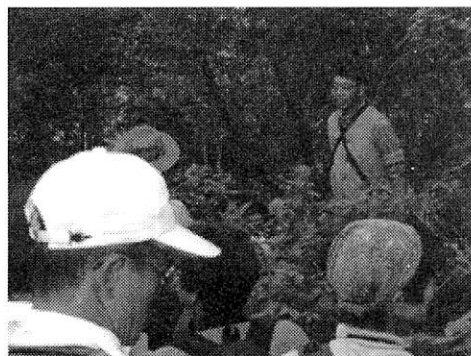
（講義の様子）

3日間を通して、昼間はフィールドに出て野外実習を、夕食後にも3時間の講義が行われました。



野外実習では、森全体の様子を観察した後、森の中に入って落ち葉が土に返っていく様子を観察したり、森を遠くから見たり、近づいて見ることによる見え方の違いから、自然のしくみやつながりなどを学びました。

また、実際に植物や土の中の動物、地層を観察しながら、この地域の自然環境の特徴について理解を深めました。



（野外実習の様子）

講義では自然観察会の意義やその適切な進め方などについて学びました。

最終日には、各受講生が自然観察指導員になったつもりで、自然観察会のテーマを探し、全員がミニ自然観察会の指導を行いました。

今回の自然観察指導員講習会で、受講された60名の方全員が新しく自然観察指導員に登録されました。



新指導員に耳寄り情報

冊子・調査報告書紹介



●自然観察にさっそく役立ちます！

愛知県自然観察指導員連絡協議会員が執筆の冊子・調査報告書が以下の通りあります。

～ ～ ～ ～ ～

- 新指導員希望者には金額表示のあるもの以外は無料配布しますので申し出てください。
 - 金額表示のあるものは、残りわずかです。希望者は早めにどうぞ。
- 品切れの場合はご容赦ください。

管理担当：佐藤国彦 05617-3-5674

(尚、長期会員にはすでに配布済みです)

～ ～ ～ ～ ～

◎ 四季の自然観察シリーズ

全4冊のうち「春」「冬」

◎ 身近な自然観察シリーズ

全3冊のうち「昆虫」「地質」

◎ 地域の自然ガイドシリーズ

全3冊のうち「尾張」「東三河」

◎ 愛知県の自然観察（愛知県発行）

◎ 自然観察の手引きシリーズ（名古屋市発行）

「雑木林」「草原」「水辺」

◎ 中部の湿原（東海財団発行）

◎ 中部の山々（東海財団発行）

「さの1」「ひの2」

◎ は虫類・両生類調査報告書

（愛知県調査）1,400円 *会員のみ送付

◎ レッドデータ調査報告書・植物

（愛知県発行）1,800円

◎ レッドデータ調査報告書・動物

（愛知県発行）1,500円

◆ 指導員講習会受講後、協議会加入者を紹介します。今後のご活躍に期待します！

◆ 紙面の都合により一部の方のみの紹介になりました。

①氏名 ②居住地(支部) (敬称略)

①浅井一光 ②名古屋市(知多)

①奥村昇次 ②春日井市(尾張)

①奥村英雄 ②名古屋市(名古屋)

①刑部哲也 ②名古屋市(名古屋)

①鹿島千代 ②稲沢市(尾張)

①葛西美江 ②名古屋市(名古屋)

①金田紘泰 ②田原市(東三河)

①桑原 誠 ②東浦町(知多)

①小林英子 ②岡崎市(西三河)

①澤柳倫太郎 ②尾張旭市(尾張)

①柴田和則 ②豊山町(尾張)

①新宅英夫 ②名古屋市(名古屋)

①角谷孝清 ②碧南市(西三河)

①千手勝子 ②春日井市(尾張)

①田畑恭子 ②名古屋市(名古屋)

①長江保明 ②瀬戸市(尾張)

①中川博子 ②三好町(西三河)

①松原秀臣 ②名古屋市(名古屋)

①松山城仁 ②名古屋市(名古屋)

①柳 行雄 ②名古屋市(尾張)

①山口 健 ②西春町(尾張)

①山下眞志 ②安城市(西三河)

①吉田雅紀 ②尾張旭市(尾張)

(11月末日現在入会の方々です)



①秋元義也 ②岡崎市在住 (西三河支部)

岡崎市役所に勤務しています。子供の頃から昆虫が好きで、野山を駆け回っています。住んでいる地域には、里山景観が広がり多くの動植物が見られます。この恵まれた自然環境を守るために、地域の方たちと活動したいと考えています。



①石黒豊広
②御津町在住
(東三河支部)

私は自然が好きで、自然の中に身を置くことが好きなただのおじさんです。今風にいえば自然から受ける”癒し”が好きだということだと思います。最近では、その癒しのある自然が少なくなってきました。社会生活を送る上で、直接自然とかかわりを持たない人が多くなり当たり前になった自然がどんどん遠のいている状況を肌で感じている人が余りにも少な過ぎるように思います。そんな自然を身近に肌で感じさせてくれるのが、自然観察会であろうと思います。微力ではありますが自然観察指導員として、そのお手伝いができることはとてもうれしく思います。どうぞよろしくお願いします。



①小川展広
②知多市在住
(知多支部)

第337回の指導員講習会受講終了にあたり、講師の先生方はもとより、県環境部自然環境グループ・協議会関係者の方々には、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。3年前に退職後、介護の道に進み特養・グループホームで痴呆の方々と一緒に「脳は若返るよ」と《観察》の毎日です。自然観察も原点は同じであったこと、自然観察を通して自然保護活動が開けることなど・・・よく理解できました。これからは自然に対する広範な知識蓄積はさておき、地元「知多自然観察会」の皆さんと、さらなる自然保護実現への仲間づくりのため一歩でも半歩でも踏み出す決意です。よろしくお願いします。



①兼松雅務 ②名古屋市在住 (名古屋支部)

現役をリタイアしてから野鳥の観察と撮影を始めました。巣づくりや小鳥の巣立ちを見守って、自然の仕組みに感動しています。地域の緑地公園の愛護活動に参加していきたいと思っています。



①小嶋 護
②小牧市
(尾張支部)

青森の三内丸山遺跡を尋ねたときに、1500年もの長期間に渡って安定した社会生活が営まれてきた大規模な縄文集落があったこと、さらに当時の人々が現代とほとんど変わらない文化的な生活を送っていることに非常に感銘を受けました。ボランティアの方の「ある意味では縄文人は現代人より豊かで幸せな生活を送っていたと思いますよ」という言葉が今でも耳に残っています。このような時代に、自分にも身近で何かできることがないかと思い指導員講習会を受講しました。できるところからできることを少しずつでも始めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



① 中田 顕世 ②名古屋市在住
(名古屋支部)

7割も森林が占めるこの国で、何か自然に関する活動ができたらいいなと思ひ申し込みました。

①畑中良三 ②稲沢市在住 (尾張支部)

中高年を対象としたクラブの幹事をしております。ハイキング、登山、スキーの同行者が約百名集まっています。



①星野京子
②豊川市在住
(東三河支部)

観察会に出ささせていただくたびに、発見と驚きを味わっています。地球温暖化が問われる昨今、自然界を生き抜く動植物の動きに興味をひかれ、アサギマダラの移動(マーキング)や温暖化による動植物の移動等、皆さんと共に学んでいきたいと思っています。



①箕浦貞夫
②大山市在住
(尾張支部)

健康増進の為に始めた山歩きから自然の楽しさを知りました。そして自然環境保護の必要性も感じて居ります。特に3年前の集中豪雨の爪跡はまだ残っています。自然保護の為に「良く見る目」を養いたいと思います。どうぞ宜しくお願い。今年還暦を迎えた犬山の里山を愛する1人です。



①余門光子
②名古屋市在住
(名古屋支部)

仕事は「『自然の権利』基金」という環境NGOの事務局と法律事務員とを掛け持ちしています(小さなNGOで専従が雇えないのです)。自然保護のために裁判など法的手段を利用する人たちを応援しています。専従になり、一日中環境のために時間が使えることを夢見て、いま財政面の強化に取り組んでいます。しかし専従になれても高い見識が伴わないとダメですね。また仕事柄、「保護」に力点を置きがちです。複雑で規模の大きな今の環境問題を解決するには、幅広い人たちの賛同を得る必要があります。求められているのは、まさに「自然の楽しさを、自然の大切さを、みんなに」「自然観察から始まる自然保護」だと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

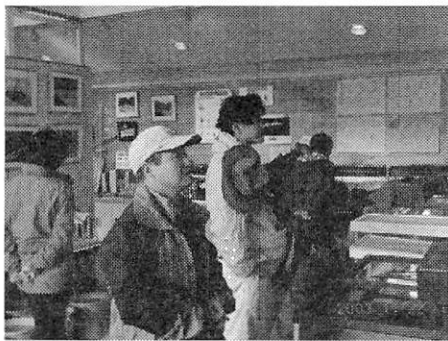
知多支部研修 「西三河支部との交流会」

日 時：平成 15 年 11 月 22 日(土)～平成 15 年 11 月 23 日(日)
 視察場所：西尾市→岡崎市→豊田市

◆レポート 降旗 光宏(知多支部)

知多自然観察会」はホームページに紹介している行事以外に会員親睦研修として、1泊2日の視察旅行を年2回行っています。1回は他支部へ出掛けて、相手支部地域の自然観察施設の視察と仲間が行っている自然観察会への参加です。もう一つは他府県に出掛け、注目されている自然豊かで貴重な所を視察に行っています。

今回は西三河地区で行いました。移動は毎回、自家用車に分乗し、巡回しています。最初に西尾市家武町にある「いきものふれあいの里」を訪れました。ここで日帰り参加者と合流しました。今年、11月に自然観察指導員講習を受講された西三河地区の方にも呼びかけた所、角谷さんが参加されここで合流しました。「西尾いきものふれあいの里」では、専門員をされている長谷川さんに施設の説明と案内をしていただきました。



展示室の淡水魚・自然素材のクラフトなどを見学
 (於 西尾いきものふれあいの里)

次に岡崎市八ツ木町にある「おかざき自然体験の森」に移動しました。ここでは西三河支部の伊東さん、奥居さん、近藤さんに案内していただきました。伊東さんには事前に施設利用の手配、パンフレットの送付をしていただきました。奥居さんには私達の移動が遅れたため、長い時間駐車場で待たせてしまいました。近藤さんはムラサキシキブの交雑の資料、イヌセンブリの観察記録、写真集(プロ級)をプレゼントしていただきました。写真集は新会員歓迎会や総会の時に持参して紹介したいと思います。

参加者全員で記念写真 (於 豊田市自然観察の森)



西三河支部との交流会は「勘八老人福祉館」で行いました。宴会は老人カラオケクラブの団体と同席でした。ここでカラオケの対抗会があり、本会代表選手の畠・沖田両氏は熱演し、優秀な成績をおさめました。部屋に戻ってからが本番で、水分を十分に補給しながらこれからの自然観察会について、もうろうとしながらも熱心に語り明かしました。翌朝は朝風呂の中からダムにいるオシドリを眺め、気分のいい一日が始まりました。

2日目午前、西三河支部で実施している平戸橋自然観察会に合流しました。人生経験豊かな常連会員がたくさん参加され盛大でした。山原さんが総天然色で知多支部歓迎のパンフレッドを作成してくださいました。また、ミカンの差し入れも頂きました。そんな中、知多からの団体は随分ムードを壊しました。物珍しさのためか興味のまま勝手に行動し、大変迷惑をかけました。でも楽しい観察会でした。

午後の視察地は「豊田市自然観察の森」です。途中でいつも恒例になっている昼食の買出しです。地元、西三河会員の案内でコンビニに団体でくり込みました。それぞれお気に入りのものを手に入れて「豊田市自然観察の森」に移動し青空の下で昼食をとりました。知多支部の旅行は天気がいい限り必ず野外で昼食を取る事にしています。それは、食事をしながらも新しい発見が出来るからです。昼食の後、施設内を深見さん中心に西三河支部の皆さんに案内をしていただきました。大変お世話になりました。

視察旅行の様子はホームページ日本名検索
 — 知多自然観察会 — または
<http://www.japan-net.ne.jp/~furihata/>

☆生きものたちの活動が少なくなる冬の観察会はみなさん、どのようなことをテーマにしていますか。今回は記録を取ることと、その活用の紹介です。

冬の自然観察&記録

齋竹善行

冬になると、子供たちに人気のある虫などがほとんど見られなくなり、目だった花や実も少ないことから観察のねた探しがたいへんだということもあるでしょう。しかし、日本の自然は四季それぞれに変化があり、冬にしか見られないものもあります。身近なところでということになると、まずは冬鳥の観察でしょう。

ちょっとした川や池に行くと、カモ類がたくさん見られます。一定の距離を置いて見ているなら、カモ類は飛び立つことなく水面にうかんでいるので、じっくり観察することができます。メスはたがいによく似ていて識別が難しいかもしれませんが、オスは渡ってきてしばらくすると、それぞれ特徴のある色合いになりますので、図鑑を見ながらじっくりと種の同定が可能です。オスの近くに同じくらいの大きさの地味な色合いのカモがいたら、同種のメスの可能性が高いので、図鑑とよく見比べて見ましょう。



2003年 齋竹善行 撮影

また、カモ類などの水鳥だけでなく、山や林にもツグミやジョウビタキなどいろいろな冬鳥がやって来ます。冬鳥は春先に渡ってくる夏鳥と違ってさえずりは聞かれませんが、地鳴きが聞かれますし、落葉樹は葉が落ちて枝の先端まで見通せるようになっているので、林の中でも観察が容易にできます。シジュウカラやカシラダカなど群をつくって行動している小鳥もよく目につきます。

さて、せっかく観察したのなら、記録をつけてみましょう。シーズンで初めて渡り鳥を見た日、最後に見た日、初めてさえずりを聞いた日などを記録しておく、地域ごとの渡りの時期の差や経年変化がわかってきます。参考までに過去5年間の愛知県におけるジョウビタキの初認情報（パソコン通信やインターネットで集まったもの）を紹介すると、

1999/10/10	→	美浜町
11/04	→	岩倉市
11/06	→	豊明市
2000/11/01	→	岡崎市
11/04	→	犬山市
11/05	→	東郷町
11/06	→	岩倉市
2001/10/14	→	汐川干潟
10/20	→	名古屋市
10/21	→	立田村
10/27	→	稲武町
10/31	→	名古屋市中区
11/04	→	岩倉市
2002/10/16	→	尾張旭市
10/25	→	名古屋市西区
10/28	→	岩倉市
10/29	→	東郷町
11/05	→	豊橋市
2003/10/25	→	名古屋市天白区
10/26	→	扶桑町
10/30	→	名古屋市北区
10/30	→	名古屋市南区
10/31	→	岩倉市

ということで、愛知県ではほぼ10月中旬から11月上旬にかけてジョウビタキが渡って来ていることがうかがわれます。

気象台ではこういった季節による生物の変化を「生物季節」として観測しています。（もちろん、生物季節観測としては野鳥だけでなく、昆虫の初見、あるいは植物の開花、紅（黄）葉なども調べられています。）生物季節観測は、毎年、決められた場所で厳密に行われていますが、私たちはもっといろいろな場所ですべて自由に観察し、記録を残せばいいと思います。まもなくウメの開花やウグイスの初鳴きなどが観測されます。こうした記録を「生物暦」として募集していますので、提供していただければ幸いです。これまでの生物暦の記録は尾張自然観察会の Web ページ (<http://www.006.upp.so-net.ne.jp/symbio21/>) でご覧になることができます。

寒い、寒いと家にこもらないで、フィールドに出てみれば、冬でも何かすばらしいものにめぐり合えるのではないのでしょうか。

理事会役員紹介 第2弾

(尚、前回91号に第1弾の紹介をしています。)

①氏名 (居住地) ②担当内容



①石田晴子
②会計
(名古屋市在住)

協議会で会計を担当しております石田です。
愛知県環境部に勤務しています。現在、夫が単身赴任中であり、土日は帰ってくる夫のために時間を最優先しておりますので、定例観察会は参加できません。従いまして、私の自然観察のフィールドは毎日通勤で通る「鶴舞公園」です。自然観察指導員講習会で講師(今井さんだったかな?)のお話にありましたが、「通勤は毎日同じ所を、同じ時刻に観察する最もよい手段」を実行しています。忙しくて自然観察なんて余裕がない!と思っておられる方がいらっしゃいましたら、ぜひ実行してみてください。いろいろな発見があります。



①大谷敏和
②研修
(多治見市在住)

定光寺観察会では、本などではなかなか見られない生き物が生きていくいろいろな姿を参加者に見てもらいたいなと思って活動しています。協議会の係りを引き受けることは大変ですが、生き物の生態に詳しい方との出会いがあり、お知恵をもらうこともできます。すばらしい力をもった人たちが集まった協議会が世の中から評価されるよう会員同士が刺激しあって活動できたらいいなと思っています。皆様からの協力をお願いします。



①齋竹(さいたけ)善行
②管理

1985年から尾張支部に所属しています。最近では地元岩倉市が整備した自然生態園の運営のお手伝いをしており、支部行事にはあまり参加できない状態です。理事の担当は会員名簿の管理です。この名簿で協議会ニュースを送付しますので、入会、退会、転居などは支部を通じてご連絡下さい。また、協議会の活性化を期待し、会員のメーリングリストを運営していますので、関心のある方はBZA03620@nifty.ne.jpまでご連絡ください。



①巾 賢治
②広報
(名古屋市在住)

長らく子どもたちと触れ合ってきた中で一人の子どもが一生懸命に木の枝を削っている姿がありました。よく見ると刃物は小さなのこぎりでした。大変ショックを受けました。また、自然観察を行なう中でもゲーム機から目を離さない子どもがおり、いかに自然との触れ合いが遠のいているかどうかどうすればと思う気持ちがあり、ならば自然観察指導員でと今日に到っています。

理事については協議会も新たなスタンスで運営して行こうという姿が見えてきました。これからはどう肉付けして行くか会員皆様と考えていきたいと思っています。



① 苅川 真弓 ②機関紙編集 (西尾市在住)

協議会ニュースの編集を担当しております。他県で指導員講習受講の所為か「協議会」を良く知りませんでしたが、編集や理事会に関わるようになり把握することができました。観察会は東三河支部に参加しております。今年は、地元の西尾市内でも「小さな観察会」を始めてみたいです。また、みなさんに教えて頂くか事があるかと思っています、宜しくお願いいたします。



①山田 博一②観察会 (可児市在住)

協議会は、将来のために必要な、かけがえのない活動をやっている団体である。指導員どうしのつながりをしっかりとすると、もっと力を出し、多くの人に理解される団体となる。そのため尾張自然観察会Webページ担当として微力ですが力を尽くしたいと思っています。

尾張自然観察会Webページ

(<http://www006.upp.so-net.ne.jp/symbio21/>)



①吉川洋行
②普及
(名古屋市在住)

知多支部の20周年行事の際、いろいろな方と話していて、事務局のお手伝いを・・・という話があり、事務局のみなさんとの打ち合わせに参加してきて、今回、理事という形で協議会の仕事をお手伝いさせていただくことになりました。港区の庄内川沿いに住んでいて、朝は水鳥を見ながら？通勤しています。勤務地の大府市や東海市を中心に、とくに植物と昆虫、魚に興味を持って、知多半島各地の観察会に参加しています。リース作りや木の実の工作も好きです。背伸びせず、できることから協議会を支えていくよう協力していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

◆上記の他、次の理事が各担当を務めています。管理担当：佐藤国彦（日進市在住）
企画担当：堀田守（名古屋市在住） 編集担当：吉田裕孝（一宮市在住）

■ 理事会報告

(報告：近藤)

● 日時：10月25日 出席者12名

1. 規約(案)・経理規定(案)の字句についてのチェック
全文の(案)の検討終了
2. リーフレット最終(案)についての検討
写真・文面について検討を行う
愛知県自然観察指導員講習会にて受講生に配布
3. 愛知県自然観察指導員講習会協力体制の確認
会長をはじめ地元講師として3名、実技指導に4名協力
4. 新人研修(12月23日)、内容検討
協議会紹介、観察会紹介、茶話会などを行う

● 日時：11月30日 出席者13名

1. 補正予算について
会計より補正予算(案)の説明
2. 来年度事業について
次回理事会にて各担当理事から来年度事業(案)を提案要請
次回総会を3月20日(春分の日)と決定
委託事業「海岸の自然観察」についての説明
3. 年会費について
会費の滞納者などの確認を行い、名簿の整理を行う
4. 新人研修(12月23日)についての内容確認
事例発表者及び発表時間(10分)厳守、機器類、機器類操作についての確認

9月23日講演会 「外来種アンケート」報告 <植物・その他>

講演会参加者の方にお願ひしました「外来種に関する」アンケート結果を掲載します。講演会には、会員・一般含め110人ほどの来場があり、64人の方よりご意見を頂きました。

また講演会の情報は、「各支部観察会」「知人の情報」「朝日新聞、中日新聞など」その他に「インターネット」などから得た方がありました。そして、報告の掲載はより多くの方のコメントの紹介といたしました。(コメントは一部掲載の関係で集約している所もあります)

- ・名古屋市内、ビオトープが造られている所には外来種(定着した外来種を含む)が無意識のうちに生殖している。はっきりと在来種に限定すべきかそれとも自然として容認すべきかよく分からない。
- ・ため池にスイレンを入れられ、裸地湿地に外来モウセンゴケが移入されている。ボランティアで除去作業に取り組んでいる状態。
- ・区画を限定してセイタカアワダチソウを駆除すると多数の植物が元気になるようです。
- ・植物に関して言えば、身近な野原は外来種に占拠され、現状外来種を管理するのは無理。
- ・帰化植物としての外来種、園芸植物からの外来種、栽培植物としての外来種など、どのくらいの種が持ち込まれ、その分布が不明であろう。外来種と在来種のハイブリットが数多く存在し、植物では手付かずの状態。
- ・湿地にシラタマホシクサの種子を蒔かれた、誰が蒔いたか不明、見たらとる。
- ・問題点はあまりハッキリわかりませんが、淡水魚の種類、個体数が減っていることは事実です。セイタカアワダチソウの繁茂で、ススキ・その他の群落の減少がみられます。
- ・セイタカアワダチソウ・アメリカセンダングサなどが休耕田で増殖。
- ・植物の場合、新着の外来種がいつとき大発生してどうなることかと思ってみていると、年を経るごとに減少して在来種が盛り返して来る様子を何度も見えています。自然にまかせた場合と駆除に力をそそいだ場合と、どれほど相違があるか知りたいと思います。
- ・植物に関して言えば、身近な野原は外来種に占拠され、現状外来種を管理するのは無理。
- ・一般の生活の中で、どれが外来なのか、在来なのか良くわからない、従って問題意識がない事が問題
- ・本来の日本種が殺されてしまう、遊小池の話がありましたが、年に1回選別しながら是非とも行ってほしい。プラス、ヘドロを採って、湧水(きれいな水)の再生、良い種の生態連鎖が期待できます。
- ・今後注意して見ていこうと思います。

自然観察指導員講習会開催されました

犬山市、犬山国際ユースホテルにおいて11月1・2・3日に開催の講習会受講生から多数の新指導員の加入がありました。すでにさまざまな自然関連の会で活動されている人も多いようです。新指導員の今後の活躍を期待します。まず地域の支部の観察会・行事に参加をお勧めします。(近藤)

次回、総会3月20日(春分の日・土)に決定

* 詳細は次号93号(3/1発行)にてお知らせします。

9月23日講演会 「外来種アンケート」報告 <生き物・その他>

- ・実際にアライグマの被害が出ているが駆除できないよう、保護対策となっており駆除以前の問題
- ・新聞で名東区明徳池にカミツキガメがいたと報道されていた
- ・島田湿地自然生態園では、ため池のアメリカザリガニ・ウシガエルを駆除中、園内に入る帰化植物は抜き取りをしていますが、共に根絶はできない。難しい。園に柵がある為、地域の住民による搬入はごく少ない。一度30cmのオオクチバスが搬入、それは駆除。今はコイがいるらしい。
- ・三重県尾鷲市でタイワンザルが道路を横切ったのは驚いた。
- ・自然生態園のアメリカザリガニを来園者に「ザリガニ釣り」をしてもらい持ち帰るなり、池にもどらない様にしているのですが、釣っても釣ってもいます、何か良い駆除法がないものか。
- ・オオクチバス・ブルーギルのために、ため池にすむ在来魚の種類が減少しています。
- ・海部津島地方で、保健所が用水等にタガヤシを放流したものが定着し、主にメダカの生息域を犯していると考えられ、メダカとタガヤシの比率は2~3:8~7程度で、100%カダヤシしかみられない場合も多数ある。現在放流は行われていないようだが、犬山ではメダカの放流が発覚し、遺伝子問題も発生している。
- ・日進市でオオクチバス・ブルーギルの為、メダカが減少した、
- ・会社がある岐阜の大垣では、ジャインボタニシが増えています。
- ・問題点はあまりハッキリわかりませんが、淡水魚の種類、個体数が減っていることは事実です。
- ・オオクチバスの人的移殖(川へ池へ)。公共の公園などの柵を乗り越えてバス釣りなど非常識きわまりなく、昔から池にすんでいる「メダカ・モロコ・ドジョウ・フナなどいなくなったって何が悪い」と思っているのだろうか。将来の池や川の魚はブルーギルとオオクチバスのみなんてことになり、学校の理科の教科書も池や川の魚は、ブルーギルとオオクチバスですとなるのか。困った事だとわからないのか。駆除例などは全く聞かない、お役人さんががんばってよ。
- ・子供たちがメダカ以外では、外来魚しか知らなくなっている。
- ・大府市内のニッ池公園の増田池では、かご製の「もんどり」でブルーギルの幼魚(~5cm)が数分で30匹以上入り、やはりゲーフィッシングによる放流が考えられます。このニッ池公園に自然観察を主にした施設が計画、施行されていて、(国土交通省による予算金有)、そこの展示にオオクチバスやブルーギルを展示するかどうか、いろいろ議論されましたが、結局「今いる種」として展示をするという方向になりました。
- ・ブルーギル・オオクチバスにより、フナ・ウシモツゴなどの在来種が絶滅しかけた。現在はまた回復傾向。ミシシippieアカミミガメが大量に生息しており、稚ガメもいる。繁殖していると思われる。在来種が減少しているとは現在は確認できず。
- ・スッポンが境川で確認されて、かみつかれたりしないように注意を呼びかけている。
- ・農業で外来害虫の被害の多い事。最近農薬の規制が厳しくなり、対応農薬が作物別に決まった事による。マメハモグリバエ・オンシツコナジラミなど作物別の安全基準により防除がしにくくなっている。

(注)コメント中の「ブラックバス→オオクチバス」に統一掲載しております。

行事予定

行事名	日時	集合	内容	い合わせ
王滝溪谷自然観察会 (西三河支部)	2/14(土) 9:00~	溪谷入口 駐車場	冬芽・冬鳥・ 越冬昆虫の観察	深見 0565 28-4958
日程 決定! 愛知県自然観察指導員 連絡協議会 総会	3/20 (春分の日・土) 詳細は 93 号にてお知らせします。 (3月1日発行)			近藤 052 822-7460

表紙：近藤 守さん(西三河支部)
写真集『奥三河の四季』より

「富士の見える峠」

解説：冬の良く晴れた朝、天狗棚から南アルプスの向こうに富士山の頭が少しだけ見える。同じように、南方には奥三河の山越しに海が見える。双眼鏡を使えば白く輝く海面を船が行くのを見ることが出来る。冬は遠くを見るのに最適な季節である。

本号より1年間(計6回シリーズ)、先号の事務局だよりで紹介しました近藤守さんの写真集より、四季折々の風景・花などの写真をご紹介します。

編集後記

葉を落とした木々に、膨らみ始めた花芽を探すことは、冬の観察会の楽しみの一つです。

今号より、松尾初さん、稲生和久さんと編集のお手伝いをするようになりました。パソコンビギナーの私は、編集会議で皆さんが話すパソコン用語に付いていくのが大変です。

“習うより慣れろ” 努力いたします。今年も良い年でありますように。

横井 邦子

編集スタッフ

稲生 和久、岩沙 雅代、近藤 記巳子、
齋竹 善行、古川 俊江、苅川 真弓、
松尾 初、横井 邦子、吉田 裕孝

◎みなさまのご意見・ご感想など原稿をお寄せ下さい。

尚、原稿は内容を変えない程度に加筆・修正することがあります。あらかじめご了承下さい。

愛知県自然観察指導員連絡協議会
協議会ニュース編集部

〒491-0057 愛知県一宮市今伊勢町宮後
字西松山 43-1 大野荘 B-106
吉田 裕孝 Tel/Fax 0586-43-3829

<お詫びと訂正>

91号に訂正がありました。

●P6 定例観察会の名古屋支部
「2.牧野ヶ池自然観察会」の問合先
名前(誤) 幅さん→(正) 巾さん

●「10.相生山緑地自然観察会」の
開催日
(誤) 第4土曜日→(正) 第4日曜日

以上2箇所の訂正をお願い致します。

愛知県自然観察指導員連絡協議会 事務局

〒457-0006 愛知県名古屋市南区鳥栖 2-6-17 桜本町 CH101
近藤 記巳子 Tel/Fax 052-822-7460